香川県立ミュージアム
The Kagawa Museum

歴史展示室の展示替えを行います

令和８年９月 18 日（金曜日）
香川県立ミュージアム
担当　学芸課　藤井（ふじい）・御厨（みくりや）
TEL　087-822-0247

歴史展示室に新しい資料を展示します

1　常設展示室の展示替えについて

当館の歴史展示室は原始から近現代に至る香川の歴史を紹介する常設の展示室です。香川の歴史に関する展示室であるため、その内容が大きく変わることはありませんが、当館が収蔵する数多くの資料を積極的に活用し、豊かな香川の歴史を伝えていくために、定期的に展示替えを行っています。

今般、９月 24 日（木）に令和８年度２回目の展示替えを行いますので、お知らせします。

令和８年度の展示替え予定
歴史展示室　~~①６月 15 日（月）~~　**②９月 24 日（木）**　③12 月下旬　④３月 15 日（月）

2　展示替えを実施した展示室

香川県立ミュージアム３階　歴史展示室


歴史展示室

3　展示替え資料点数

歴史展示室　46 件 54 点（複製品も含む）

4　主な展示替え資料

原　始：平形銅剣（弥生時代中期）
古　代：『菅家文草（かんけぶんそう）』（江戸時代刊）
中　世：義経御坐船之図（よしつねござぶねのず）（江戸時代）
近　世：幕末世相狂歌「ないものづくし」（江戸時代）
近現代：地券（明治 15 年［1882］）、愛国イロハカルタ（昭和時代）

5　開館時間と観覧料

開館時間　午前９時～午後５時（入館は午後４時 30 分まで）
夜間開館日：午前９時～午後８時（入館は午後７時 30 分まで）
休 館 日　毎週月曜日、ただし 11/9、16、23、12/7 は開館
（月曜日が休日の場合は、原則として翌火曜日）、
10/16～21、11/17～19、11/30～12/2 は臨時休館
観 覧 料　一般 500 円、団体（20 名以上）400 円
※高校生以下の方、香川県在住の 65 歳以上の方、障害者手帳・特定医療費（指定難病）受給者証・小児慢性特定疾病医療費受給者証等の提示者とその介護者の方は無料。
※特別展開催中は、特別展観覧券で常設展もご覧いただけます。
※「香川県民の日」（12/3）は観覧料無料

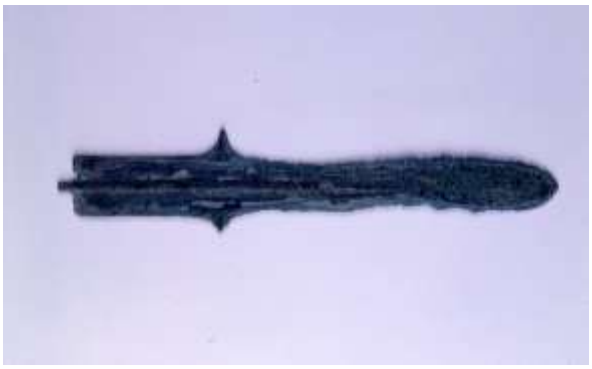
6　行事

ミュージアム・ショートガイド
当館職員が展示をワンポイントで解説します。要観覧券、申込不要。
10 月 11 日（日）、11 月 21 日（土）、12 月 19 日（土）　各日 10:30～（20 分程度）
第２、第４土曜日には当館ボランティアによる歴史展示室の展示解説も実施しています

裏面に続きます

7　主な展示資料の概要

平形銅剣（ひらがたどうけん）　弥生時代中期　当館蔵



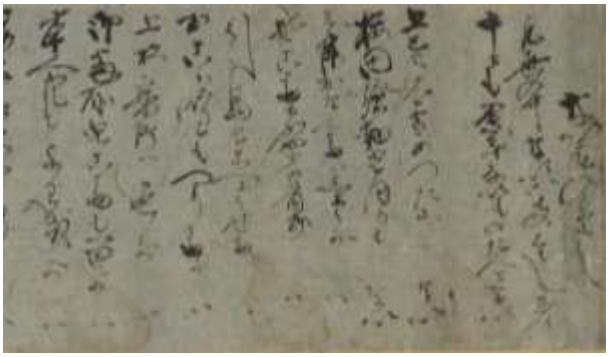
主に瀬戸内沿岸部で使用された青銅製の祭器（さいき）で、香川県内でも盛んに用いられた。本資料はさぬき市石田東で３口まとめて発見されたもののうち１口。棘（とげ）状の突起の一方には、銅が回りきらず欠けた部分を、当時の技術で補った痕跡がある（補鋳（ほちゅう））。現在は錆（さび）により緑色だが、製作当時は新品の 10 円硬貨に近い色をしていた。

義経御坐船之図（よしつねござぶねのず）　江戸時代　当館蔵



元暦 2/寿永 4 年（1185）3 月、壇ノ浦（だんのうら）の戦いに敗れた平家一門は安徳天皇とともに海中に没した。三種の神器（じんぎ）も一緒に海中に没し、剣（つるぎ）はついに見つからなかった。画中の人物は皆海中に目をやり、三種の神器を見つけようとしている。

幕末世相狂歌（ばくまつせそうきょうか）「ないものづくし」　江戸時代　当館蔵



幕末の社会は外国とどのような関係を結んでいくかで大きくゆれ動き、加えて物価が上がるなど、人々のくらしは不安なものであった。そのような社会の様子を五七調のリズムでシャレを交えて呼んだ狂歌がさかんに作られた。本資料では冒頭に桜田門外の変がとりあげられている。

地券（ちけん）　明治 15 年（1882）　当館蔵



香川郡宮脇村（現高松市）の田に対して発行された地券。地券は、地租改正の結果、土地の所有者に交付された。所有権の移転は裏面に記載されるようになっている。明治 21 年（1888）の第三次香川県設置まで讃岐地域を管轄していた愛媛県が発行したもの。